

長時間労働や休日出勤… 昔の美德、認識改め



長男歩翔ちゃんを妻とあやすイクボスの岩崎洋平さん。「結婚も子育ても楽しいことだと行動で示したい」と語る。鹿角島市のみなと大通り公園

「イクボス」増加中

1面から続く

「自分たちが若いころは長時間労働、休日出勤が美德。子育ては妻に任せきりだった」鹿角島製菓の岩松聡総務部長(57)は振り返る。しかし今や、その認識を大きく改めた。



④鹿角島

孫をかわいがる「イクジイ(爺)」でもあり、子育て社員目線で業務の改善を図る。育児休業制度はもろろん時間単位、半日単位の事情があれば1歳6カ月まで今年10月からはさらに2歳まで再延長できるようになった。子どもが生まれる予定の労働者らに、育児休業を個別に知らせる努力義務が、新たに定められた。

イクボス

育児休業制度

育児・介護休業法で認められた、子どもが1歳になるまで育児休業を取ることができる制度。保育園が見つからないなど

の事情があれば1歳6カ月まで今年10月からはさらに2歳まで再延長できるようになった。子どもが生まれる予定の労働者らに、育児休業を個別に知らせる努力義務が、新たに定められた。

イベントを聞く。岩崎さんは「緩く長く活動を続けていきたい。子育ては楽しいということを、多くの人に知ってほしい」と話す。

鹿角島市は11月、30以上の団体と「市イクボス推進同盟(仮称)」を結成する。事業所のトップらが、イクボスへの取り組みを情報交換する狙いだ。

2016年度の市男性職員の育児取得率は2・8%で2人にとどまった。森博幸市長(67)は「仕事と生活を両立できる環境づくり、子育てを応援する機運が高まるよう、企業と連携し、私自身もイクボス宣言したい」。他社の事例を学びたいと同盟参加を予定する城山観光(新隠院町)は、01年に敷地内に託児所を設置。今年2月には、働き方改革と女性活躍を進めるグループを新設し、業務を見直している。

働き方改革担当の安藤清一さん(47)は「ノイ会議アワーや短期間勤務制度など、良いと思えるものを次々取り入れてきた」。10月中にも初めての男性育児取得者が出る予定だ。「育児で休ませると

損と考える経営者がいるが、それは間違い」と話すのは、特定社会保険労務士前田嘉秋さ

ん(55)。「下荒田4丁目。休業から半年間は、雇用保険から賃金の67%が給付金として支払

われる。半年後以降は50%が出る。「管理職が育児・介護休業法などの制度を